

令和5年度の取組実績及び 令和6年度の取組予定について

令和6年5月30日

静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会幹事会

静岡県東部地域の減災に係る取組方針について

「静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会」（以下「協議会」）は、**洪水氾濫や土砂災害による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進するため**に設立された。

本協議会では、東部地域における水害の特徴や課題、これまでの取組の進捗状況等を踏まえ、令和3年度から7年度までに、命を守るための円滑かつ迅速な避難、氾濫発生後の社会機能の早期回復等、**大規模氾濫時の減災対策として各構成機関が計画的・一体的に取り組む事項について、「静岡県東部地域の減災に係る取組方針」としてとりまとめた。**

■減災のために達成すべき目標

東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ

- 住民の防災意識の向上
- 逃げ遅れによる人的被害をなくすこと
- 氾濫発生後の社会機能の早期回復を目指す。

目標達成に向け、東部地域において、**3本柱に基づく7つの重点取組事項を設定**し、目標達成に向けた取組を実施している。

3本柱：(1)～(3)
7つの重点取組事項：①～⑦

(1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

- ① 防災教育等の推進

(2) 地域住民の確実な避難のための取組

- ② 洪水時における情報提供の充実
- ③ 広域避難体制の構築
- ④ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進

(3) 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組

- ⑤ 水防団（消防団）の組織強化
- ⑥ 水防活動の充実
- ⑦ 治水施設整備等の促進

概ね5年で実施する取組

国土交通省がとりまとめた「緊急行動計画（平成31年1月改定）」を基本とし、地域特有の課題を踏まえ、概ね5年で実施する取組を設定した。また、各取組における対象機関を定めている。

取組項目	重点取組事項
(1) 関係機関の連携体制	
1 大規模氾濫減災協議会等の設置	－
(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組	
①情報伝達、避難計画等に関する事項	
2 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	②洪水時における情報提供の充実
3 避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（タイムライン）	②洪水時における情報提供の充実
4 多機関連携型タイムラインの拡充	②洪水時における情報提供の充実
5 水害危険性の周知促進	②洪水時における情報提供の充実
6 ICT等を活用した洪水情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
7 危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	②洪水時における情報提供の充実
8 洪水予測や河川水位の状況に関する解説	②洪水時における情報提供の充実
9 防災施設の機能に関する情報提供の充実	②洪水時における情報提供の充実
10 ダム放流情報を活用した避難体系の確立【対象外】	②洪水時における情報提供の充実
11 土砂災害警戒情報を補足する情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
12 避難計画作成の支援ツールの充実	②洪水時における情報提供の充実
13 隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等	③広域避難体制の構築
14 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	④要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進
②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
15 浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等	②洪水時における情報提供の充実
16 ハザードマップの改良、周知、活用	②洪水時における情報提供の充実
17 浸水実績等の周知	②洪水時における情報提供の充実
18 ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	②洪水時における情報提供の充実
19 災害リスクの現地表示	②洪水時における情報提供の充実
20 防災教育等の推進	①防災教育等の推進
21 避難訓練への地域住民の参加促進	①防災教育等の推進
22 共助の仕組みの強化	①防災教育等の推進
23 住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	①防災教育等の推進
24 地域防災力の向上のための人材育成	①防災教育等の推進
③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	
25 洪水予測や水位情報の提供の強化	②洪水時における情報提供の充実
26 決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（危機管理型ハード対策）	⑦治水施設整備等の促進
27 避難路、避難場所の安全対策の強化	⑦治水施設整備等の促進
28 応急的な退避場所の確保	⑦治水施設整備等の促進
29 河川防災ステーションの整備	⑥水防活動の充実

取組項目	重点取組事項
(3) 被害軽減の取組	
①水防体制に関する事項	
30 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	⑥水防活動の充実
31 水防に関する広報の充実（水防団員確保に係る取組）	⑤水防団（消防団）の組織強化
32 水防訓練の充実	⑥水防活動の充実
33 水防関係者間での連携、協力に関する検討	⑤水防団（消防団）の組織強化
②多様な主体による被害軽減対策に関する事項	
34 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	②洪水時における情報提供の充実
35 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	②洪水時における情報提供の充実
36 早期復興を支援する事前の準備	⑦治水施設整備等の促進
(4) 氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取組	
37 排水施設、排水資機材の運用方法の改善	⑦治水施設整備等の促進
38 排水設備の耐水性の強化	⑦治水施設整備等の促進
39 浸水被害軽減地区の指定	⑦治水施設整備等の促進
40 庁舎等の防災拠点の強化	⑦治水施設整備等の促進
(5) 防災施設の整備等	
41 堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）	⑦治水施設整備等の促進
42 本川と支川の合流部等の対策	⑦治水施設整備等の促進
43 多数の家屋や重要施設等の保全対策	⑦治水施設整備等の促進
44 流木や土砂の影響への対策	⑦治水施設整備等の促進
45 土砂・洪水氾濫への対策	⑦治水施設整備等の促進
46 ダム等の洪水調節機能の向上・確保【対象外】	⑦治水施設整備等の促進
47 重要インフラの機能確保	⑦治水施設整備等の促進
48 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	⑦治水施設整備等の促進
49 河川管理の高度化の検討	⑦治水施設整備等の促進
(6) 防災・減災に関する国の支援	
50 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	⑦治水施設整備等の促進
51 代行制度による都道府県に対する技術支援	⑦治水施設整備等の促進
52 適切な土地利用の促進	⑦治水施設整備等の促進
53 災害時及び災害復旧に対する支援	⑦治水施設整備等の促進
54 災害情報の地方公共団体との共有体制強化	⑦治水施設整備等の促進

本資料に掲載している取組一覧

★：令和5年度の取組実績
○：令和6年度の取組予定
●：令和5年度の取組実績 & 令和6年度の取組予定

取組 番号	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国 市	函南町	清水町	長泉町	小山町	駿東伊豆 消防本部	富士山 南東消防 本部	御殿場・ 小山消防 本部	警察本部	陸上 自衛隊	伊豆箱根 鉄道	静岡地方 气象台	沼津河川 国道 事務所	静岡県	沼津土木 事務所	東部 地域局	静岡県危 機管理部
取01																						
取02															●							
取03																						
取04																		●				
取05																						
取06	○	●、○																				●
取07																						
取08																						
取09																						
取10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取11																						
取12																						
取13																						
取14	●																		●			
取15																				★		
取16		★					●	○														
取17																						
取18																						
取19																						
取20	★		★		★	●			●									●			●	
取21																						
取22																						
取23					○	●																●
取24																						
取25																	●					
取26																						
取27																						

本資料に掲載している取組一覧

★：令和5年度の取組実績
○：令和6年度の取組予定
●：令和5年度の取組実績 & 令和6年度の取組予定

取組 番号	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国 市	函南町	清水町	長泉町	小山町	駿東伊豆 消防本部	富士山 南東消防 本部	御殿場・ 小山消防 本部	警察本部	陸上 自衛隊	伊豆箱根 鉄道	静岡地方 気象台	沼津河川 国道 事務所	静岡県	沼津土木 事務所	東部 地域局	静岡県危 機管理部
取28																						
取29																				○		
取30	★																					
取31																						
取32			○	●			○			●	●	●	●			●						
取33											●	●		●	●			●				
取34																						
取35																						
取36																						
取37	○						★															
取38																						
取39																						
取40																						
取41								●														
取42																						
取43																						
取44																						
取45																						
取46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取47																						
取48																						
取49																						
取50																						
取51																						
取52																						
取53																						
取54																						

令和5年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の推進

取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

令和5年度は、水害や土砂災害への防災意識を高めてもらうため、小・中学校の生徒や自主防災会等に対して出前講座を実施した。

6月16日（金）DIG訓練

第四地区西自主防災会

10月19日（木）風水害対策講座

加藤学園暁秀初等学校（4年生）

11月 8日（水）風水害対策講座

愛鷹中学校（3年生）



第四地区西自主防災会



愛鷹中学校



加藤学園暁秀初等学校

令和6年度取組予定

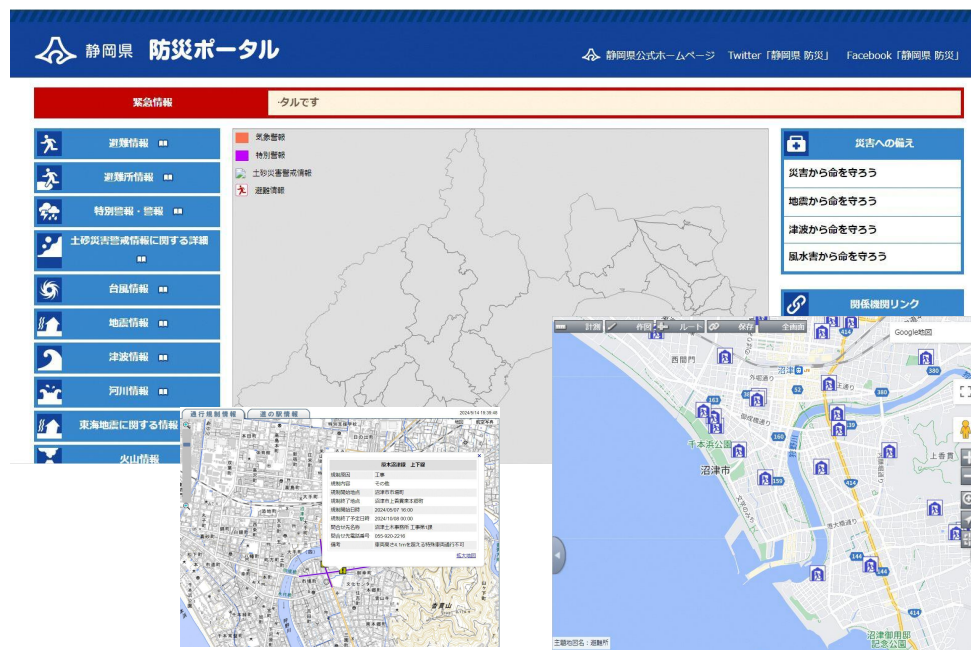
重点取組事項：洪水時における情報提供の充実

取組項目：ICTを活用した洪水情報の提供

（取組番号：6）

災害時に被害情報の収集、共有、発信を一つのシステムで行えるよう、災害情報共有システムを導入する。

スマートフォン等の端末から現地の職員が被害情報を報告、災害対策本部がその情報を基に状況を判断し、対応を指示するほか、災害ポータルサイトに浸水被害の状況や通行規制箇所などの情報を掲載し、市民に対して迅速な情報提供を行う。



令和5年度の実績

重点取組事項：水防体制に関する事項
取組項目：重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認（取組番号：30）

大雨による浸水被害から市民の自宅を守るために、市内に土のうステーションを3箇所設置している。
 令和5年6月の台風2号による豪雨では、1,000個以上の土のうを配布した。
 ※市民が土のうステーションを活用する際は、河川課まで連絡してもらい、1世帯20袋までを限度に各自お持ちいただいている。
 ※市民への周知は、市ホームページ等で行っている。



大平土のうステーション



一本松土のうステーション

令和6年度の実行予定

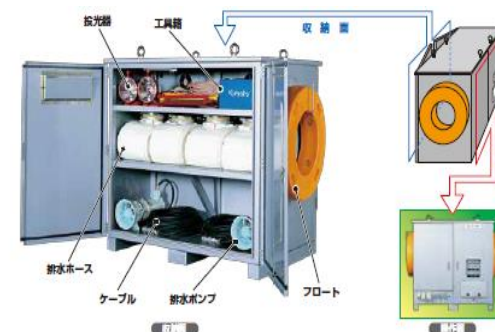
重点取組事項：氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取組
取組項目：排水施設、排水資機材の運用方法の改善（取組番号：37）

近年の激甚化する豪雨災害に対応すべく、非常時に機動的に運用可能な排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージを令和6年度に導入する。



◀排水ポンプ車(1台)
 ※1分間に7.5m³排水可能なポンプを4台搭載

排水ポンプパッケージ(2台)▶
 ※1分間に5m³排水可能なポンプを2台搭載(1台当たり)



令和5年度取組実績

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項

**取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施
(取組番号：14)**

- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）に対し、引き続き避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導する。
- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）における、早急なBCP計画策定を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制整備を整備する。
- 水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施する。

【参考 6/2 大雨被害時の対応】

以下の市内介護保険事業所等に対する被害状況照会実施。

・介護医療院	1件	
・介護老人保健施設	6件	
・介護老人福祉施設	11件	
・特定施設入居者生活介護	11件	
・地域密着型サービス	72件	
・介護支援事業所	58件	
・訪問介護	58件	
・通所介護	24件	計241件

※市内各地域包括支援センター（10カ所）に対する避難判断の助言も実施した。

令和6年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項

**取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施
(取組番号：14)**

- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）に対し、引き続き避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導する。
- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）における、早急なBCP計画策定を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制整備を整備する。
- 水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施する。



★避難確保計画

- ・指導対象施設数 62施設
- ・指導実施施設数 (R6) 3施設予定

★BCP計画

- ・指導対象施設数 150施設予定
- ・指導実施施設数(R6) 54施設予定

令和5年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実

取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：06）

大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる樋管の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、令和2年度より、樋管の内水側に河川監視カメラ及び水位センサーを設置している。また、迅速な避難情報の発令のため、大雨による急激な水位状況が見込まれる中小河川に監視カメラ等を設置している。

令和5年度においては、河川等監視カメラ2基及び水位センサー2基の設置を行った。



【令和5年度に設置した監視カメラ・センサー】

令和6年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実

取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：06）

市河川監視カメラ映像及び水位センサーのデータは、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、浸水被害の可能性がある地域住民へ出水状況をリアルタイムで情報提供する。また、今後も監視が必要と思われる箇所へ、監視カメラ等を設置していく。



【監視場所一覧画面】



【監視画面】

令和5年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

令和5年度においては、約40の対象団体、のべ約3,800名の方に対して防災出前講座を実施し、そのうち約500名について、特に風水害への備えに関する講座を実施した。

その中でも8団体（学校、病院、自主防災会等）に、風水害への日頃からの備えや、避難行動等について防災教育を行った。また、「わたしの避難計画」に関連した教育を行い、災害への備えとしての活用を推進した。



教育資料①



教育資料②(わたひな)



出前講座の様子①

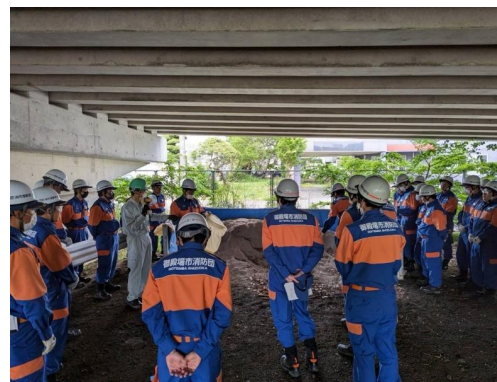


出前講座の様子②

令和6年度取組予定

重点取組事項：①水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

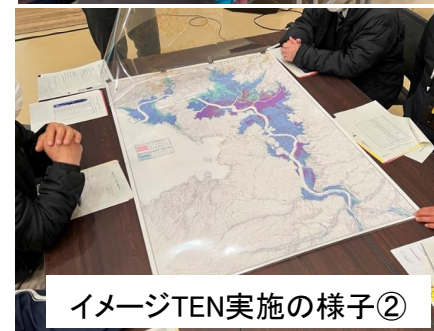
各区の自主防災会の会長・防災部長等、指導的立場にある防災役員、および消防団員に対し、風水害に対する防災力向上をねらいとする訓練を実施。土のうの作成、積み上げ工法の指導や、移動系無線機の取扱操作訓練、県の風水害イメージTENを活用した訓練を実施し、水防に関する知識・技能を付与することで、各種災害発生時、的確に対応できるよう地域防災能力の向上を図る。



訓練風景(消防団)



イメージTEN実施の様子①



イメージTEN実施の様子②

令和5年度取組実績

重点取組事項：③被害軽減の取組

取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

黄瀬川に隣接する佐野本宿区をモデル地区として、市主催による水防訓練を実施した。

- ・地元住民参加による二本松公民館への一時避難、安否確認等
- ・要配慮者利用施設職員及び施設利用者の訓練参加（講話、避難所への移動等）
- ・消防団員の土のう積み訓練（自衛隊指導）
- ・排水ポンプの実演（デモンストレーション）

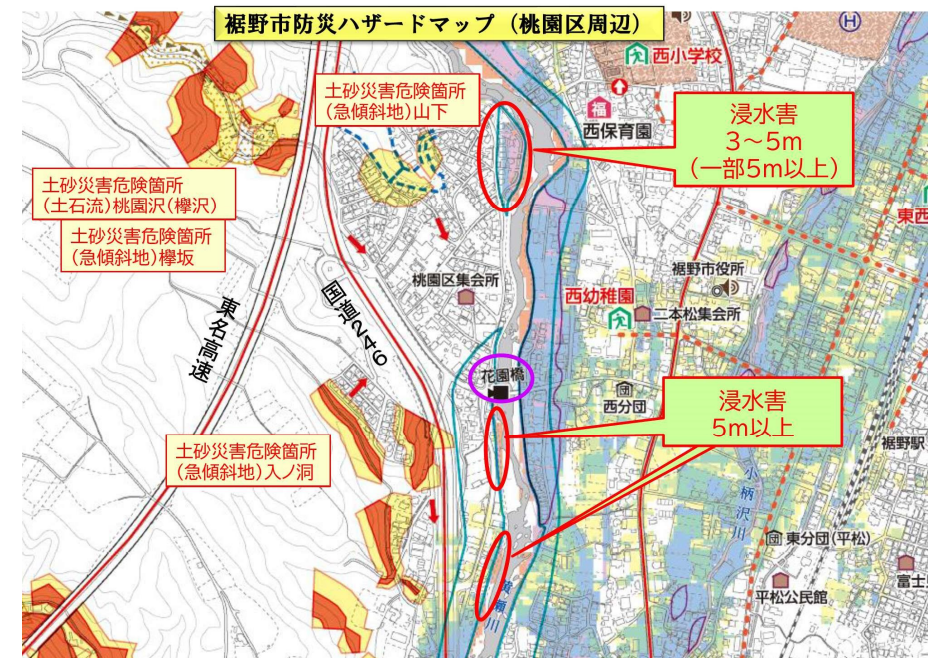


令和6年度取組予定

重点取組事項：③被害軽減の取組

取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

黄瀬川に隣接し、浸水想定区域と土砂災害警戒区域を抱える桃園区をモデル地区とし、地元住民が参加した土砂災害・水防訓練を実施する。（6/2）



令和5年度取組実績

重点取組事項：防災教育の促進
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

●市内4中学校は、2年生で行う「総合的な学習の時間」を未来の防災人材育成の時間とし、ふじのくにジュニア防災士の取得までを狙った防災教育を実施している。

教育委員会と危機管理課で連携し、避難行動や避難所運営等を実践的に学び、自助・共助の必要性について考える授業を実施した。修善寺中学校、中伊豆中学校、天城中学校3中学校で実施。



DIG（災害図上訓練）
←



避難所運営訓練
 （トイレブース組み立て）→

令和6年度取組予定

重点取組事項：わたしの避難計画の普及促進
取組項目：住民一人一人の避難計画作成促進（取組番号：23）

災害死者ゼロを目指して！

市内全『自主防災会』で

R7年度までに達成目標

『わたしの避難計画』作成を完了！

※自治会単位で世帯数の「9割以上」の作成完了を達成目標としている。

年度	自主防災会数	普及率
R7年度末	118地区（10,845世帯）	100%

《事業計画》

①説明会の開催

区長、自主防災会長、防災指導員を核に地区普及員の確保

②わたしの避難計画の作成

自主防災会長等の役員を中心に各自主防災会で『わたしの避難計画』を作成。



特典 作成世帯数が9割以上の場合、
 自主防災会補助金の補助額を上乗せ

令和5年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

市内の小中学校を対象に「防災教育」の支援する。
 令和5年度においては、小学校1校で段階を追って、防災マップの見方からクロスロード等を活用し、全5項目の講座を実施し、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。また、中学校1校で防災講座（狩野川台風と令和元年台風19号との比較）と土のう作りを実施し、水害への備えや避難行動等について考える講座を実施。



令和元年台風第19号とハザードマップ

伊豆の国市
市南防災課



中学校防災講座



小学校防災講座

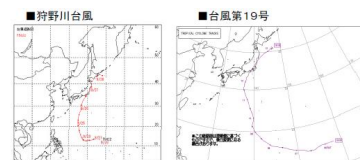
令和6年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

昨年度同様、市内の小中学校を対象に「防災教育」の支援する。
 令和6年度においても小学校1校で段階を追って、防災マップの見方からクロスロード等を活用し、全5項目の講座を実施し、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。また、中学校2校で防災講座（狩野川台風と令和元年台風19号との比較）と土のう作りを実施し水害への備えや避難行動等について考える講座を実施。

令和元年台風第19号とハザードマップ

伊豆の国市
市南防災課



中学校防災講座

令和5年度の実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

浸水想定区域内にある市内9地区へ「わたしの避難計画」の作成支援（ワークショップ）を行い、普及展開し早期避難を意識づける取り組みを行った。



ワークショップ実施

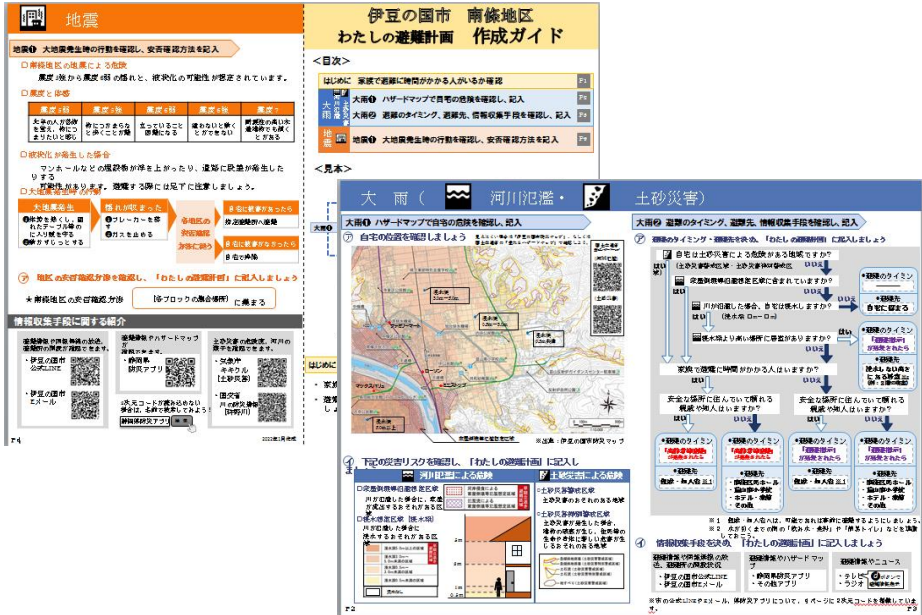
「わたしの避難計画」

令和6年度の実行予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成推進（取組番号：23）

浸水想定区域内にある市内11地区へ「わたしの避難計画」の作成支援（ワークショップ）を行い、普及展開し早期避難を意識づける取り組みを行う。



「わたしの避難計画」

令和5年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）

防災出前講座において「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等について、町内小学校4校、町内中学校1校、自主防災組織5組織、一般団体6団体、その他1団体の計17団体 856人に対して活用方法の周知を行った。

重点取組事項：（4）氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取組

取組項目：排水施設、排水資機材の運用方法の改善（取組番号：37）

令和5年6月2日の大雨の際には、町消防隊により町所有の排水ポンプ車を鈴川橋付近の堤防に設置し、肥田・新田地区内に貯まった雨水を柿沢川へ排水し、区域内の浸水深を抑制した。



令和6年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）

令和5年度に引き続き、「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等についての防災出前講座を実施することにより、早期避難による人的被害の軽減を目指す。

「函南町防災マップ」裏表紙の「マイ・タイムライン」を活用し、防災出前講座参加者自身の「マイ・タイムライン」を完成させる取り組みを実施する。

重点取組事項：水防体制に関する事項

取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

消防団、自主防災組織、建設事業防災協力会等を対象に、土のう作成、土のう積み工法、消防署による水害時の対応講習等、基礎的な水防技術等を学ぶ訓練を実施する。



令和5年度実績

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：堤防等河川管理施設の整備
(取組番号：41)

江川・丸池川の適切な河川管理を行うため、堤防や通路等の除草とコンクリート舗装による改修をし、河川管理施設の整備を行った。引き続き令和6年度以降も取り組んでいく。

江川水路敷管理工事



施工前



施工後

丸池川河川改修工事



施工前



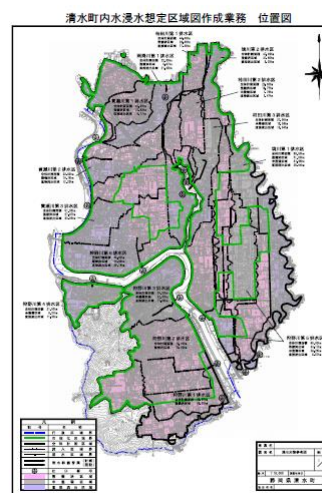
施工後

令和6年度実績予定

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：堤防等河川管理施設の整備
(取組番号：41)

引き続き令和6年度以降も江川・丸池川の整備について取り組んでいくことに加え、町内河川の浚渫工を行い、河川の溢水を防止する。

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：ハザードマップの改良、周知、活用
(取組番号：16)



令和7年度の内水ハザードマップの作成を目指し、令和6年度に内水浸水想定区域図を作成する。

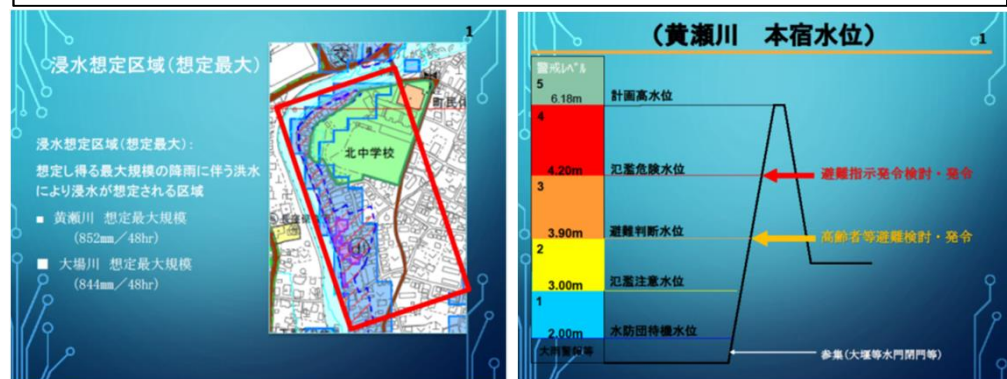
令和5年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の推進

取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

概要

令和5年度は、浸水想定区域等を含む自治会の代表者（自治会長及び自主防災会長）24自治会計48名を対象に「自然災害時の対応に係る説明会」を実施した。自然災害発生メカニズムや浸水想定区域や土砂災害警戒区域についての説明を行った。この他、自衛隊による自然災害への対応状況について説明していただいた。



説明会資料



説明会の様子

令和6年度取組予定

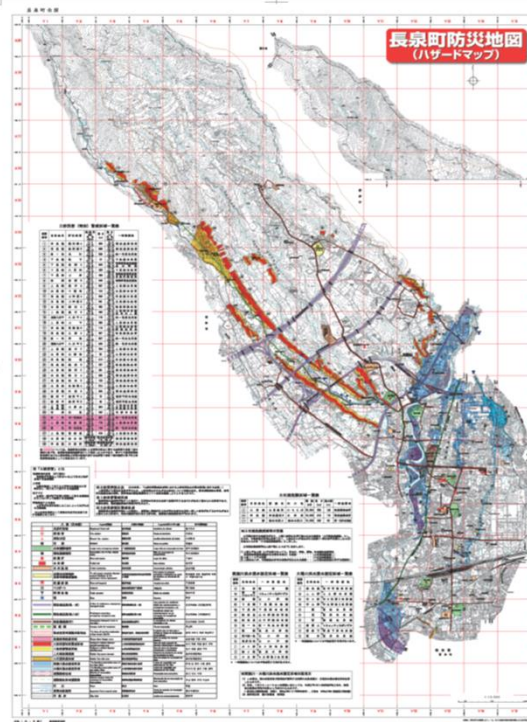
重点取組事項：①防災教育等の推進

取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

概要

自治会長や自主防災会長が交代となるため、令和6年度においても「自然災害時の対応に係る説明会」を実施していく。

内容については前年度と同様に、自然災害発生メカニズムや浸水想定区域や土砂災害警戒区域についての説明を行い、また、静岡地方気象台による大雨や台風への備えについての講話を行うことで出水期を前に防災意識の向上を図る。



長泉町ハザードマップ

令和5年度取組実績

重点取組事項：水防訓練の充実

取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）

○住民避難訓練(6/3夜間)

土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を持つ生土区、音湊区、落合区の住民が避難指示を受けて、指定避難所である小山中学校体育館に避難、受付・避難所運営実習等を実施した。

○水防訓練（6/4）

自主防災組織、消防団、防災士等を対象に、土のう作成要領、土のう積み工法、ロープ結索、無線機の操作等、基礎的な水防技術等を修得した。



各地区の自主防災会と担当する消防団が顔合わせし、その後、協力して土嚢を作成（R5.6.4 信濃高原食品株駐車場（生土区））

令和6年度取組予定

重点取組事項：水防訓練の充実

取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）

○住民避難訓練(6/1夜間)

土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を持つ中島区、湯船区、柳島区、藤曲区の住民が、夕刻に発令された避難指示を受けて、指定避難所である成美小学校体育館に避難、受付・避難所運営実習等を実施予定

○水防訓練（6/2）

自主防災組織、消防団を対象に、土のう作成、土のう積み工法、防災無線機の操作等、基礎的な水防技術の訓練を予定



住民避難訓練・避難所運営実習の様子（R5.6.3：小山中学校）

令和5年度取組実績

重点取組事項：水防関係者間での連携、協力に関する検討
取組項目：構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○令和5年6月に、駿東伊豆消防本部管内の構成市町4市3町（沼津市・清水町・函南町・伊豆の国市・伊豆市・伊東市・東伊豆町）防災担当者との情報連絡会議を開催した。

○緊急消防援助隊の概要や進出拠点の必要性について再確認し、現地視察を実施した。そして、新たに2つの市で進出拠点を確保することができた。

重点取組事項：水防訓練の充実

取組項目：建設業協会等との土砂災害対応連携訓練（取組番号：32）

○令和5年9月に、関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、建設業協会・警察機関（静岡県警察本部・伊豆中央警察署）・林業従事者・消防機関（駿東伊豆消防本部・静岡市消防局）において、土砂災害対応連携訓練を実施した。

○現地合同調整所運営訓練を実施し、関係機関がどのように活動を展開していくか確認することにより、さらなる連携強化が図られた。



令和6年度取組予定

重点取組事項：水防関係者間での連携、協力に関する検討
取組項目：構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○能登半島地震を受け、応援部隊の進出拠点を複数確保することが望ましいため、引き続き構成市町との調整を進めていく。

○各構成市町防災担当者と平時から連絡を密にし、顔の見える関係を構築することで、災害時における連携強化を図る。

重点取組事項：水防訓練の充実

取組項目：建設業協会等との土砂災害対応連携訓練（取組番号：32）

○令和3年7月から重機隊の運用を開始し、熱海市土石流災害にて活動した。以後、より高度な操作技術を求め、建設業協会等に協力を依頼し、技術指導を受けている。

○令和6年度は、さらなる関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、土砂災害対応連携訓練を計画している。



○関東地区9都県の緊急消防援助隊受援訓練が、管内を開催地として計画されているため、さらなる受援体制の強化に取り組む。

令和5年度取組実績

重点取組事項：消防団と合同水防訓練の実施 取組項目：消防団との連携強化（取組番号：33）

消防団と消防署合同で、土のう作製訓練を実施した。また、風水害が発生したことを想定し、情報伝達訓練を行い、災害発生時の情報伝達の流れについて再確認をした。



重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施 取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）

災害発生時に、浸水域からの救出を想定して救命ボートを使用し水難救出訓練を実施した。（写真はR5年度更新ボート）



令和6年度取組予定

重点取組事項：消防団と合同訓練の実施 取組項目：消防団との連携強化（取組番号：33）

災害時の連携強化を目的とし、消防団と消防署合同で、土のう作製訓練及び情報伝達訓練を実施予定。各構成市町と訓練を通じて、顔の見える関係を築き災害に備える。



重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施 取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）

6,7月に大雨時の河川氾濫を想定して、救命ボートを使用した水難救出訓練を実施予定。



令和5年度取組実績

重点取組事項：① 水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

毎年、出水期を迎える前の5月に、危機管理部局へ依頼し、消防団員（兼 水防団員）に対する水防訓練を行っている。

令和5年度は、座学として「防災マップを活用した被害想定等の確認等」、実技として「改良積み土のう工法作成要領」を実施した。



防災マップの確認



各地区防災マップ



土のう積み工法

令和6年度取組予定

重点取組事項：① 水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

引き続き、大雨等による水災害に対して円滑な水防活動ができるよう、昨年度の未受講者を対象に訓練を実施した。

来年度以降も、危機管理部局と訓練内容について検討し、訓練を継続していく。



水防計画について



土のう作成



土のう積み工法



訓練講評

令和5年度取組実績

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

- ・静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会への参加（書面開催）
- ・菊川・天竜川水防連絡会委員会への参加（4/18）
- ・静岡河川事務所水防連絡会等への参加（4/21）
- ・狩野川洪水予報連絡会他への参加（6/13）
- ・静岡県水防協議会への参加（3/19）

令和6年度取組予定

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

引き続き、各会議等へ積極的に参加し、水防関係者間の連携、協力に関する検討を図る。

令和5年度取組実績

重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査
取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）

- ・災害時のための現地調査（河川）
引き続き調査中
- ・災害時のための現地調査（活動拠点）
引き続き調査中

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

- ・各種水防会議・連絡会への参加

令和6年度取組予定

重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査
取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）

- ・災害時のための現地調査（河川及び活動拠点）

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

- ・各種水防会議・連絡会への参加

令和5年度実績

重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査
取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）

- ・災害時のための現地調査（河川）
引き続き調査中
- ・災害時のための現地調査（活動拠点）
引き続き調査中

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

- ・各種水防会議・連絡会への参加

令和6年度実績予定

重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査
取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）

- ・災害時のための現地調査（河川及び活動拠点）

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

- ・各種水防会議・連絡会への参加

令和5年度取組実績

重点取組事項：情報伝達訓練
取組項目：情報伝達訓練の実施
(取組番号：32)

毎年9月に実施している防災訓練の情報伝達訓練について、実践を意識して緊張感をもって実施。そして、引き続き防災知識および防災応動訓練の再確認を実施。



防災訓練風景

令和6年度取組予定

重点取組事項：車両退避計画
取組項目：車両退避計画を実行に移す目安の策定（取組番号：32）

台風・線状降水帯発生に伴う対応の目安

1. 線状降水帯予測情報が発表された場合

気象庁から沿線に線状降水帯予測情報が発表された場合は、その予報内容とその時点における大場川の水位等を総合的に判断し、運転区、駅に増員準備を検討する。その後の、水位状況を常に監視する。

2. 大場車庫の車両避難

大場川（大場水位計）の水位が氾濫注意水位に達した場合は、運転区・運転士を待機させる。

3. 車両避難の判断・決定

大場川（大場水位計）の水位が氾濫危険水位に達した場合は、車両の避難を沿線の雨量・水位状況・列車の在線位置等を総合的に勘案して、車両の避難場所を決定し、列車を避難させる。

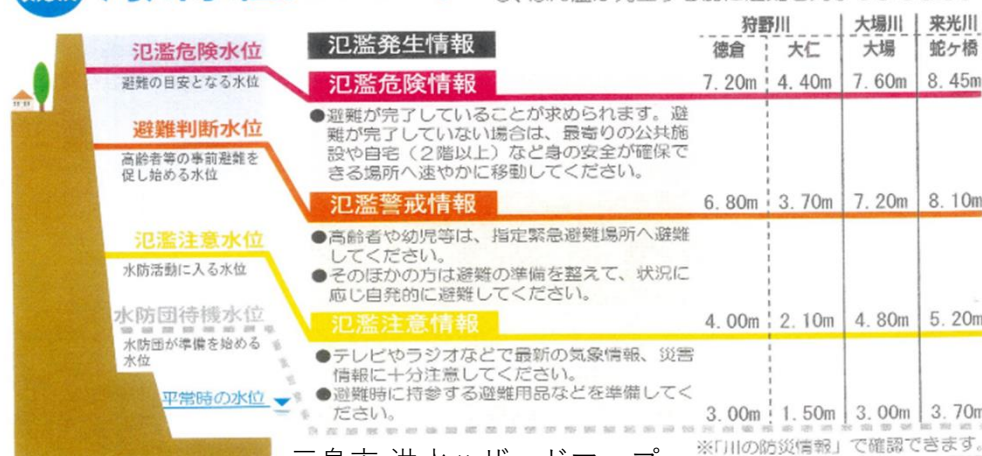
4. 車両避難の解除

大場川（大場水位計）の水位が氾濫注意水位を下回り、さらに気象情報で今後の増水が見止められない場合に、車両避難を解除する。



河川水位について

避難行動の目安となる情報です。水位情報に注意し、はん濫が発生する前に避難を完了しましょう。



令和5年度の実績

重点取組事項：顕著な大雨に関する気象情報の更新

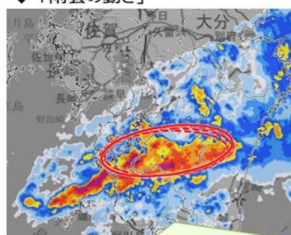
取組項目：洪水予測の強化（取組番号：25）

顕著な大雨に関する気象情報の新運用とその情報を補足する図情報の更新が行われたので、市町村訪問や気象防災ワークショップ等を行い、静岡県の自治体等に、キキクルに加えて、その使い方を周知した。

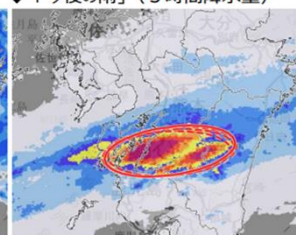


【気象庁ホームページにおける表示例】

◆「雨雲の動き」



◆「今後の雨」（3時間降水量）



○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）
○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）

ある時刻（現在時刻）に解析された線状降水帯の雨域を実線の楕円で、現在時刻から10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線の楕円で表示。

令和6年度の実行予定

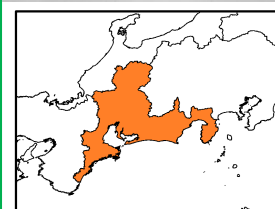
重点取組事項：顕著な大雨に関する気象情報の更新

取組項目：洪水予測の強化（取組番号：25）

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの情報が、これまでは地方単位で呼びかけていたものを、出水期頃からは府県単位で呼びかけることになった。引き続き、静岡県の自治体等に、市町村訪問や気象防災ワークショップ等を行い、キキクルに加えて、その使い方を周知したい。



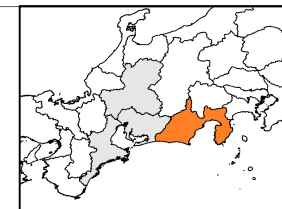
2024年3月5日「第11世代数値解析予報システム」の導入により更新前のもより約4倍の計算能力になった。これにより予報の精度が向上し、気象情報の改善が行われた。



東海地方

対象地域を絞り込んで発表

大雨に関する静岡県気象情報 第○号
○年○月○日○時○分 静岡地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…



静岡県

大雨に関する静岡県気象情報 第○号
○年○月○日○時○分 静岡地方気象台発表
<見出し>
静岡県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

令和5年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

平成28年度より狩野川流域の小学校を対象に「防災・河川環境教育」の支援に取り組んでいる。
令和5年度においては、新規実践協力校1校を含む、計24校の小学校に対して、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施するための教材作成等の支援を行った。

沼津市立第二小学校の想定される津波の高さを知ろう！

地しん・津波による被害を防ぐための沼津市の取り組み

ひなんルートを考えよう

学校別ハザードマップ

授業の様子

(令和5年度新規実践協力校)

出前講座資料”逃げキット”（抜粋）

令和6年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

引き続き、狩野川流域における「防災・河川環境教育」を支援する。令和6年度においては新たに1校を加えた計25校の小学校で、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施する。



令和6年度 支援予定の小学校位置図

令和5年度取組実績

重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化
取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）

狩野川流域の水防活動を円滑に実施するため、狩野川流域の自治体及び水防団（消防団）、河川管理者等が合同で、狩野川で洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）の河川巡視を出水期前に実施した。



三島市御園地先(大場川右岸)



清水町徳倉橋下流(狩野川左岸)

■参加者

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタンツ協会、沼津河川国道事務所

令和6年度取組予定

重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化
取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）

引き続き、重要水防箇所の河川巡視を出水期前に実施した（令和6年5月22日、5月24日）。水防関係者間での連携を強化するため、今後も継続して実施していく予定。



清水町徳倉橋下流(狩野川左岸)



長泉町本宿地区(黄瀬川左岸)

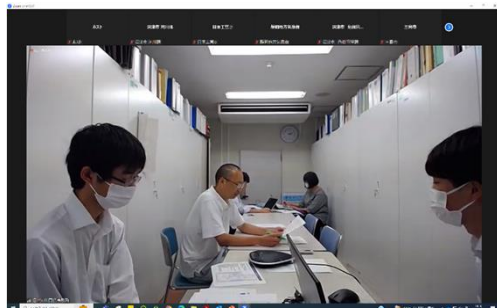
■参加者

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタンツ協会、沼津河川国道事務所

令和5年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：多機関連携型タイムラインの拡充
(取組番号：4)

令和5年台風第2号時の実際の災害対応を踏まえ、タイムラインに反映すべき事項を反映、令和4年度版「流域タイムライン」を策定した。また、河川の対象範囲を拡大、対象機関の追加を行い、令和5年度版「流域タイムライン（案）」を作成し、参加機関及び減災協議会幹事会に意見照会を実施した。



流域タイムライン確認会議 (WEB開催)



流域タイムライン追加候補機関へのヒアリング

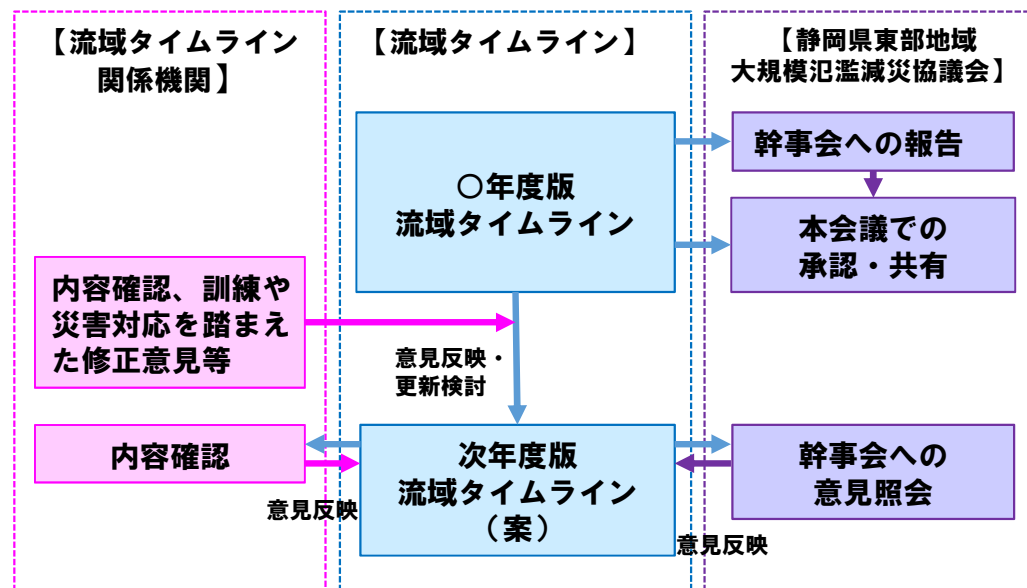


狩野川流域の洪水予報河川と水位周知河川
 (R5流域タイムラインの追加対象区間)

令和6年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：多機関連携型タイムラインの拡充
(取組番号：4)

毎年度、関係機関と内容の確認を行うとともに、訓練等を活用することで、職員の流域タイムラインへの理解促進を図る。また、流域内で出水が発生した場合は、流域タイムラインを活用するとともに、主体毎の対応の整合等を確認し、見直しを図る。流域タイムラインは静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会において承認・共有する。



流域タイムライン 毎年度の更新の流れ

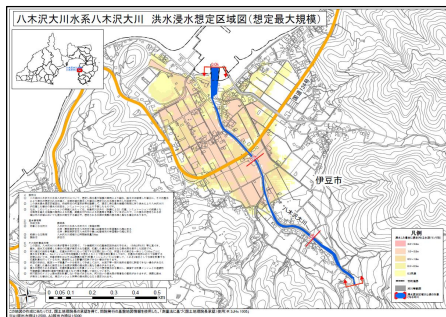
令和5年度の実績・令和6年度の実績予定【静岡県交通基盤部河川砂防局】(1/1)

令和5年度実績

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：05）

概要：洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を支援。

沼津江川ほか13河川（R5.8.31公表）
桃沢川 ほか53河川（R6.3.31公表）



重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

概要：県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法を説明。市町防災職員向けの研修会、意見交換会を開催。

市町が開催する研修会・説明会で、水害リスク情報等を説明する講師として職員の派遣。

『流域治水』の取組を地域の皆様に御理解いただくとともに更に強力に推進するため、「筆文字ロゴ」を作成。

広報等用いて積極的に活用。



（令和5年度県庁見学会の様子）



令和6年度実績予定

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：洪水時における情報提供等（取組番号：02）

概要：出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全を期すことを目的に、県管理河川を対象にした洪水対応演習を県内各土木事務所と連携して継続実施する。

（令和6年6月13日実施予定）



（令和5年度洪水対応演習の様子）

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

概要：激甚化・頻発化する豪雨に対し、市町と共に、的確な水防業務を目指して水防法等の勉強会を継続実施する。

・有用な情報を地域住民に発信できるのかを検討するため、県内報道各社の気象キャスター、アナウンサーと意見交換会を実施した。住民の防災行動につなげる（住民にささる）情報発信について今後も継続実施する。（令和5年12月22日勉強会及び意見交換会実施）



（令和5年度勉強会の様子）



（令和5年度意見交換会の様子）

令和5年度取組実績

重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

- ・危機管理部・交通基盤部と連携して、市町防災・福祉担当職員に対して意見交換会を実施
- ・避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組を支援するための広報ツール（個別避難計画作成の手引き）を作成
- ・市町職員及び福祉専門職向け個別避難計画作成研修を実施



市町防災・福祉担当職員向け意見交換会

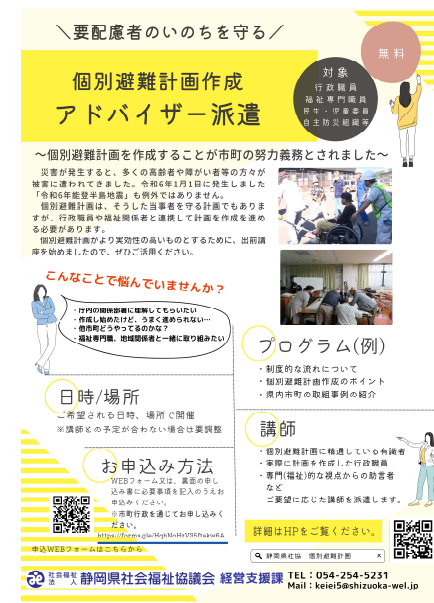


令和6年度取組予定

重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

- ・危機管理部・交通基盤部と連携して、市町防災・福祉担当職員に対して意見交換会を実施
- ・避難行動要支援者の避難支援対策等に係る制度を県民に理解していただくため、リーフレットを作成
- ・市町取組課題を解決するため、アドバイザー派遣制度を創設



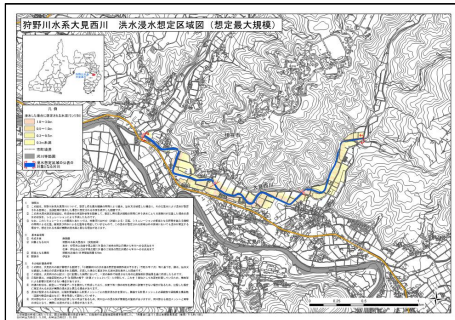
令和5年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実

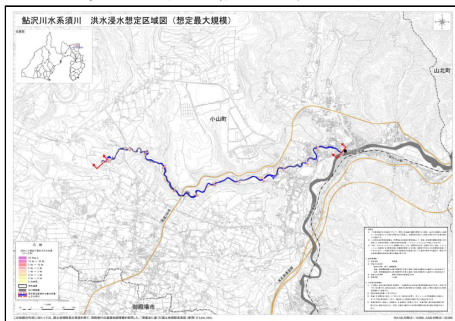
取組項目：浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等（取組番号：15）

水害リスク情報の空白域をなくするため中小河川の洪水浸水想定区域図の作成を進めてきたが、令和5年度は、一級水系40河川、二級水系13河川の洪水浸水想定区域図を作成するとともに、令和6年3月29日にこれを公表した。

既公表分を含め令和6年度末までに管内対象河川の洪水浸水想定区域の指定を目指す。



大見西川洪水浸水想定区域図



須川洪水浸水想定区域図

●R6.3.29公表分（R5作成分）

・一級水系（計40）

奥山川、冷川、柿木川、木橋川、入洞川、田沢川、京入道川、冷小川、下り沢川、修善寺深沢川、嵩田川、船原川、吉奈川、長野川、持越川、神戸川、年川、大見西川、中伊豆山田川、城川、梅木川、数沢川、猫越川、地藏堂川、原保川、菅引川、徳永川、湯舟川、梅の木沢川、下和田川、佐野川、桃沢川、谷津川、裾野大久保川、用沢川、金沢川、又沢川、深良川、久保川、西川

・二級水系（計13）

小山川、野沢川、須川、馬伏川、小山佐野川、中島川、小山湯舟川、上野川、奥の沢川、竜良川、抜川、立沢川、つつじ川

令和6年度取組予定

重点取組事項：③水防活動の充実

取組項目：河川防災ステーションの整備（取組番号：29）

令和4年台風第15号及び令和5年台風第2号により、県内各地で浸水被害が発生したことから、各土木事務所ごとに水防活動等に必要な緊急用資材の事前備蓄を順次進めている。

沼津土木事務所管内においては、現在、駿東地区と田方地区に備蓄資材等のストックヤードを整備中であり、令和6年度中の運用開始を目指す。

●駿東地区ストックヤード

整備場所：駿東郡長泉町上長窪地内

備蓄資材：砕石等、土のう袋 N=100枚

根固ブロック N=100個

●田方地区ストックヤード

整備場所：伊豆の国市南江間地内

備蓄資材：砕石等、土のう袋 N=100枚

根固ブロック N=100個



駿東地区ストックヤード整備予定箇所



駿東地区ストックヤード整備状況（整備中）

令和5年度の実績

重点執行事項：①防災教育等の促進

執行項目：防災教育の推進(執行番号：20)ほか

風水害に関する防災教育の推進

管内の高等学校等を対象に防災出前講座を実施しており、令和5年度については、94回(沼津土木管内で70回)の出前講座を実施した。

講座ではハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など、風水害に関する内容なども説明している。

市町風水害危機管理演習の実施

管内市町の防災担当職員を対象に、防災情報の取扱いや避難指示等の発令判断など防災対応力の向上を目的に演習を実施した。

＜演習＞(令和5年6月6日)

参加者：12市町22名

地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

地域住民の防災意識向上を目標に、風水害対応イメージTEN研修を実施し、風水害への備えと対応力の強化を図った。

＜研修＞

計5回開催 参加者：計90名



令和6年度の実行予定

重点執行事項：①防災教育等の促進

執行項目：防災教育の推進(執行番号：20)ほか

風水害に関する防災教育の推進

令和6年度についても、児童生徒や教員を対象に、防災について理解し、日頃の備えや適切な判断ができるよう、防災出前講座を実施する。講座の内容がより効果的になるよう、防災講話に加えて、DIG等のグループ演習を取り入れる。

市町風水害危機管理演習の実施

令和6年度についても、訓練や演習を通じて、市町の防災対応力強化を図っていく。

地域における風水害対策の強化に向け、当局が作成した「風水害対応イメージTEN」を活用し、時系列を意識した演習を実施予定。

＜演習＞(令和6年6月21日開催予定)

地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

地域防災力を強化するため、住民一人一人の防災意識向上と避難行動の迅速化を図り、地域防災指導員等を対象に風水害への備えとその対応について継続的な啓発、指導を行っていく。令和6年度も引き続き、「風水害対応イメージTEN」研修を実施する予定。



開催イメージ



開催イメージ

令和5年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

○「わたしの避難計画」の普及
 ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、作り方動画の公開やポスターの掲示、啓発活動等を実施。
 ・「わたしの避難計画」を自力で作成できない方をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を実施し、更なる普及を促進。

地区別わたしの避難計画雛形(例1)

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項
取組項目：・ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：6）

○防災アプリ「静岡県防災」による自主防災体制の強化
 ・自主防災組織の点検及び現状把握を目的とした防災カルテや、災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的とした災害状況投稿機能を有する「見える化機能」の自主防災組織への周知・説明を積極的に行った。

令和6年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

○「わたしの避難計画」の普及
 ・市町と連携し引き続き普及を図っていく。また、普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、周知啓発を実施していく。

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項
取組項目：・ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：6）

○防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上
 ・災害時に自主防災組織から安否情報や被害情報をアンケート形式で集約するシステムを導入する。
 ・避難所支援機能の普及やシステム改良により利便性の向上を図っていく。



防災アプリ「静岡県防災」